

中 岳



熊本市歯科医師会歯科医学大会 新春懇親パーティー



目

次

巻頭言	中 根 俊 吾	1
熊本市歯科医師会歯科医学大会		2
新春懇親パーティー		10
第24回ビデオ研修会		12
Study	添 島 正 和	14
第10回三歯会座談会		20
かわら版「挨拶文」特集		21
妻を偲んで	岩 村 泰 行	26
シャレにならない話	小 島 博 文	27
のぼせもんが歌舞伎座へ	緒 方 進	28
薦めたい本の紹介	分 山 英 次	29
	富 岡 浩 雄	29
	西 口 和 弘	30
新入会員紹介		31
スポーツの広場		32
会務報告		33
協同組合だより		35
この3年間を振り返って		36
編集後記		

表紙の写真

—市歯新春パーティーのひとこま—

今年は数年ぶりにカラオケが復活し、大先輩の方々の合唱を拝聴できた。元気が一番である。

団 結 と 英 知 を



会長 中根俊吾

年頭にあたり、会員皆様の多くのご教示とご協力を得て、旧年中の会務を順調に執行できましたことに感謝し、茲に改めて厚くお礼を申し上げます。

本年も幾多の問題を抱えており、又任期満了に伴ない、この4月より新執行部が発足しますので、更なるご叱声とご指導の程をお願いいたします。

ご存じのとおり、国レベルでは現在、医療保険制度の改革が審議されていますが、これは単に財政面だけを基本として、大幅な患者負担増が計られており、国民の受診の機会を抑制し早期の発見治療という医療の原則からの視点が欠落した論議がなされています。

更に、今日までの日本の社会、経済の発展の側面を支えてきた国民皆保険制度の衰退をも予兆しているのではないかと危惧しています。国民の健康と医療、福祉を担う私達は、今後の進展を注視し、十分な対応を計らねばならないと存じています。

ところで、熊本市は昨年4月より中核市となり、多くの権限が委譲され、保健、福祉についても、国の方針にならないながらも、熊本市レベルの施策が着々と進んでいます。これに伴い、公益法人たる本会の責務も大きくなっており、地域歯科保健、福祉、医療の具体策や推進を計り、地域の人々の健康保全と、生活の質の向上に努力しなければなりません。

本年も、今迄以上に関係機関との連携をとり、検討を加えながら、各々の責任分担を明確にし、地域社会の要請に添えていく所存です。そのためには、会員皆様の一層の団結と英知を結集して頂きますと共に、旧年にも倍しての会務へのご理解、ご助力の程を切望する次第です。

茲に、会員皆様のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、年頭の辞といたします。

21世紀の歯科の可能性を探る

熊本市歯科医師会歯科医学大会



2月22日（土）、「21世紀の歯科の可能性を探る」とのテーマで、熊本市歯科医師会歯科医学大会が熊本県歯科医師会館3Fホールにて開催されました。当日は天気にも恵まれ参加された先生、コデンタルスタッフの方々は130余名に及びました。

開会に先立ち中根会長にご挨拶を頂き、早速会員発表に移りました。発表者は6名で、座長はそのうち第一席より三席までを川崎俊明学術委員長が、四席より六席までを有吉洋学術副委員長が行いました。

その後、特別講演を「21世紀に向けて、今、考えること」との演題で中根俊吾先生にお願いいたしました。その中で、大きな変革期の中の歯科界で今一番大切なものは、たとえば「私たち歯科医師が歯科医師として患者さんへ生涯を通

じ健康と幸福に寄与する」といった理念である」とおっしゃっていたことが印象的でした。しかしながら、中根先生には会の進行時間の遅れにより、十分なるお話の時間がとれなくなり大変ご迷惑をおかけしました。

大会の終わりに際し、添島正和学術担当理事よりご講演いただいた中根先生に謝辞と記念品の贈呈を、また菅原洋専務理事より発表された6名の会員の先生方へ感謝状が贈られました。最後に添島理事より閉会の挨拶がありました。

今回の歯科医学大会は今期3年間学術委員会のテーマであった「総合診断」の締めくくりでもあり、盛会のうちに終わることが出来ました。ご協力頂きました会員の先生方に感謝申し上げます。

（学術 松永 久）

「診断と治療ゴール」

細川 孔



顎口腔系の健康維持は、炎症の抑制と咬合の安定が大きな2本柱となります。

日常臨床においてこの条件をクリアしていくには、治療を始める前に十分な基礎資料の収集を行

い、的確な診断にもとずいた治療ゴールのイメージを持つことが大切になってきます。その上で一口腔単位での治療計画を立て、インフォームドコンセントを行ったうえ患者との協調性を得、衛生士、技工士、歯科医師と患者が同じゴールの目標を持つことにより、必ず結果は良い方向へ導かれると考えています。

そして実際の治療にあたっての大切な事柄は、処置を基本に忠実に行うことと、各ステップごとでの再評価を確実に行うことです。

私は歯内療法、歯周治療、口腔外科、小児歯科、矯正、補綴などにおいて、どの分野でもエキスパートではありませんが、全てにおいて診断能力と技術がある程度ともなっていて治療しなければならないと考えています。よって1本の歯牙の治療をするにも、一口腔単位の診断をし原因を確認してはじめて治療行為をスタートできると考えています。

「1つの疾患を治療するにはいくつかの治療法がありうるが、正しい診断はひとつしかあり得ない」ということを念頭に置いて自分の能力だけでなく、今後はインターディシプリナリー

の考えが確立されて行くと思われしますので、健康回復の為に確実にステップアップして行く次第と考えています。

今後も、私が治療をしてもらうならと常に考え、これらの基本原則を守り継続していくことが、私の歯科医師としての歴史であり誇りとしていきたいと思っています。まだまだ若輩者ですので諸先輩、先生方の御批判、御指導よろしくをお願いします。



術前



術後

「臨床にデータを生かす」

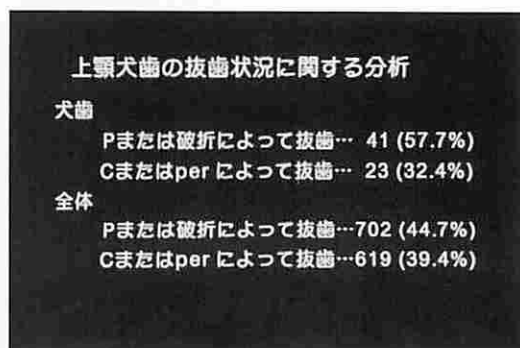
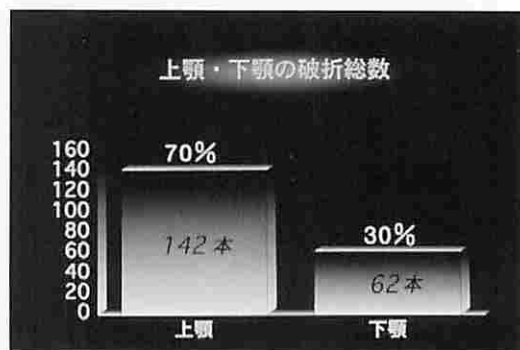
牛島 隆



臨床における治療法や処置法の選択の根拠となるのは知識や経験、勘といったものと思われるが、人間の判断は固定観念や先入観などにより、常に正しい判断を行えるとは限らない。

それを補うものの1つとして、臨床データを集積、分析することで、方向性の確認、実感の検証、判断の材料とすることを考えている。従来の症例報告により、仮説や予後因子の提示がされつつある今、それらを積み重ね、共通の認識や診断につなげていくことが必要で、そこには臨床疫学や医学判断学といった、ものの捉え方をしていかなければならないと思われる。実際例として、唾液のpHとカリエスの危険度の相関を調べたものを提示した。結果は負の相関関係が認められ、pHが低い人ほどカリエスや処置歯は多いというものだった。又分岐部病変についての調査を提示した。下顎大臼歯に起きた分岐部病変は、その骨吸収の形態が水平的なものは垂直的なものに比べ、進行が緩慢であった。しかし、この2つのデータは、あくまで私の臨床データで、普遍性は低く、症例数も限られるため、スタディーグループ等の単位での偏りのないデータ収集が必要と思われる。その例の1つとして23名の歯科医師で、歯冠破折について調べたものを提示。目にみえない「力」というものを力を受ける側の条件を考えることで、有視

野に捉らえようとした。またもう1つの例として、私が所属しているスタディーグループ「KDM」で、欠損の進行と順序というテーマで、現在進行している臨床疫学の中から、犬歯についての考察を提示した。データによる分析結果が、すべて個にあてはまるわけではなく、やはり臨床の基本は個別対応であるとも私思う。しかしその対応の中で、より確実な判断を行うための材料として、多くの困難性は含むが、生きたデータベース作りが、これからの歯科臨床のあらたな一方向性として、必要と思われる。



会員発表Ⅲ

「D.C.Sを超える生体力学的鑑別法(ワッテンボーイ法)」

菊川 明彦



ワッテンボーイ(綿投、菊川命名)とはかみ癖の診断法である。石幡伸雄(博報堂歯科室勤務)によると、口腔内に物が入った場合、一番最初にかむ所が最もかみやすい場所であり、かみ癖はそこにあるという。

患者さんの舌の上にロールワッテを放り込み、意識させることなく、自然にかみやすい所でかんでもらう。かんだ所がかみ癖のある位置であるというのである。

具体的に、うまくかませることが出来た場合、充填物、補綴物の脱離、歯根の破折、局所的な歯周病のその歯牙でまさにかんてくる。

よく使う歯牙は消耗する。いわゆるD.C.S(Dental Compression Syndrome)にかかりやすくなる。当然といえば当然である。特に一歯牙に集中した場合、その力のはかり知れないものであろう。

〔症例〕(写真1)右上3番の近心のレジン充填が5回位脱落。右上と左上の3番のファセットの違いに注目。D.C.Sの考え方だけで、このファセットの左右差の原因、説明が付きませんか？

ワッテンボーイでは一目瞭然(写真2)。この歯でばかりかんでいると推察される。では充填物の脱離を防ぐのはどうすればよいか。一般にD.C.Sの充填物の脱離に対処する方法は、周囲歯の咬合を盛るか、その歯の咬合を落とすかである。ではそうやって犬歯をガイドからはずすか？現状の咬合論では否定的であらう。D.C.Sの考え方だけでは解決はつかない。その上、こ

の場合たとえ咬合調整で当たらなくしたとしても、厚みのある固い物を繰り返しかめば結局脱落してくると予測される。

ではどうするか？この場合はかみ方を変えて頂くしかしょうがないと思われる。

〔かみ癖と一致と言われているもの〕

・上顎第一小臼歯の動揺度・舌背が傾斜している方・顔の幅が狭い方・鼻唇溝が深い方・下顎頭の運動距離が小さい方・下顎頭が前方に出にくい方・下顎頭が側方へ出にくい方(石幡による)

他、かみ癖による顎関節疾患に対する対処法を述べた。



写真1



写真2

「矯正治療におけるMKGの応用」

山本 資晴



近年、顎運動の診断、顎位の決定に際し、シロナソグラフ、アキシオグラフ等さまざまな機能検査機器の使用が行われるようになってきた。将来的にも多様な機器の開発が行われる

ものと考えられる。これらの機器のデータを臨床に応用する際、補綴的アプローチが一般的な方法と思われるが、習慣性咬合位が治療のゴールである顎位と大きく違っていた場合、矯正治療またはその併用が必要であると考えられる。しかしながらスタンダードなエッジワイズ法ではあきらかな早期接触が無ければ、習慣性咬合位を基準として治療を進めるため、特に垂直的な顎位の変化のある治療のゴールへの正確なアプローチは一般的ではない。今回マイオモニター、及びマンディブラーキネジオグラフ（以下MKGと略す）を使用したマイオトロニクス理論により、3次元的な顎位を設定する新しい概念にもとづき矯正治療を開始した症例を途中経過ながら報告した。

問題としては、装置が煩雑であること。また通常矯正の前に顎位を確定させる必要があるため、期間的に長くなること。さらに高価なMKGが必要であるなどが考えられた。ただし期間的なものについては、手順を考慮することで短縮できるものと思われる。今回行った方法と通常矯正、いわゆるスタンダードエッジワイズのメカニクスのルーチンとの比較を行うと、スタ

ンダードエッジワイズのみでは上下の歯牙が接触していないため固定源を求めるのが難しく、求める顎位への誘導が困難となることが考えられる。また、エッジワイズ法で顎位の補正を行う場合診断用バイトプレーンを使用することもあるが、これは2次元的な要素が強く垂直的な顎位の決定が難しいと考えられる。

現在までの結論としてマイオトロニクスの理論に限らず、3次元的な顎位の移動にこのメカニクスを応用することが可能であり、歯牙の移動に際し選択の幅が増えると考えられる。



術前



術中

「接着の臨床から見た露髄症例への対応」

清村 正弥



接着性レジンによる直接覆髄を成功させるための条件が明らかになってきた。これは最近著明な成果がみられる以下の3方面からの研究の進歩によるものである。

1) 歯髄の病理学的研究

イ) 歯髄と象牙質は、発生学的にも機能的にも密接な関係にあり両者を区別せず取り扱うべきである(象牙質・歯髄複合体)

ロ) 象牙細管レベルの露髄

象牙質の欠損による物理的な歯髄組織の外界との交通のみが露髄ではない。象牙細管經由の歯髄の細菌感染もありうるし、象牙質をエッチングすれば象牙細管が開口するので、これも露髄と考えるべきである。

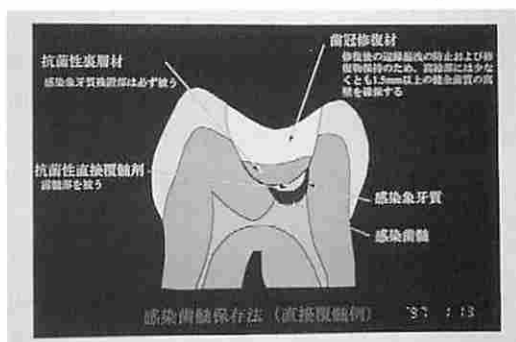
ハ) 露髄しても、歯髄の細胞は持続的無菌環境と適当な基質が存在すれば修復象牙質を形成でき、治癒可能である。

2) 抗菌剤混入覆髄剤は感染歯質及び歯髄を無菌化し、かつ象牙質形成の基質にもなりうるが、適用には窩縁の接着糊代が必要など、テクニックを必要とする。この点では抗菌性接着性レジンの方が使いやすい

3) 接着性レジンは歯髄を密閉でき、かつ象牙質形成の基質にもなりうる。樹脂含浸層形成により窩洞の完全なる密閉がなされ、また露髄面表層に形成される軟組織樹脂含浸層は象牙質形成の基質になる。軟組織樹脂含浸層が

形成されるには歯髄からの出血が無いこととレジンが湿潤状態でも重合硬化することが条件となる。

以上のことより、象牙細管レベルの露髄、つまり単なる象牙質窩洞の場合は、無菌化と密閉化により、また象牙質の欠損による物理的露髄の場合には無菌化・密閉化に加え、軟組織樹脂含浸層が形成されることにより、露髄部直下に歯髄壊死層を形成すること無く、新生象牙質が新生される。以上の理論的背景により、接着性レジンによる直接覆髄修復の可能性が高まった。



抗菌剤入アバタイトライナーによる覆髄



抗菌剤入りボンディング剤

「全身の健康と歯科の果たす役割」

添島 正和



厚生省は成人病を生活習慣病という言葉に改め、食生活・運動・休養は生活習慣病を予防する大切な要素として掲げた。それぞれ健康づくりの為の指針数項目が紹介され、国民の生

活習慣病に対する自觉と自分の健康は自分で守るという意識改革を目的としている。食生活指針においては栄養の摂取という重大なテーマがあるにもかかわらず、国民はすべて一律に栄養摂取可能な口腔であることが前提になっているが、臨床においては、歯周病・カリエス・顎関節症・義歯の不調などが原因でまんべんなく30項目の食物を食べられない患者が相当数いるのが現状である。

この健康づくりの一翼を担っている我々歯科医師とコ・デンタルスタッフ（歯科技工士・歯科衛生士・助手・受付）が一丸となって、健康づくりのための食生活が可能な口腔環境整備に携っていくことが、21世紀に向けての歯科の可能性をさらに増大させるヒントではないだろうか。さらに健康と病の入口であると同時に眼・耳・鼻などの中心に位置する口腔の健康なくして全身の健康はありえないと考える。一方、日々の臨床で歯科治療を行った後に全身の健康状態が改善したケースは枚挙にいとまがなく、経験するところである。しかしながら、我々自身が

その重要性に気付かず、見逃して正確な診断もなく単に充填処置や欠損補綴に終始していると21世紀には歯科医師としての存在価値すらなくなる恐れがある。それを回避するには、歯科医師は口腔をあくまでも全身の一部としてとらえ、マクロ・ミクロの視点での注意深い観察力を向上させ、隣接諸器官の解剖学や生理学の研鑽にも励まなくてはならない。それと同時にあらゆる機会をとらえ、一般社会に対して歯科の重要性を訴える啓蒙運動を継続的に行っていく必要がある。その方法論も今一度21世紀に向けて再考する時期にきているようである。



初診時の口腔内
(1994年7月1日)
765
17 C4のためパー
ティカル・ストップの喪
失が認められる



最終補綴物装着時
(1995年12月15日)
75
1567 部にT・Iイン
プラント埋入して咬合
の安定を図る



初診時と初診から2年
4ヶ月後の掌蹠膿疱症
の改善の状態(左足)
約2年間、皮膚科で治
療を受けたが効果な
く、歯科治療の効果
の大きさを確信できた
症例であった

特別講演

「21世紀に向けて、今、考えること」

中根 俊吾



(1) はじめに

少子高齢化社会を迎えて、保健、医学、福祉に変革が起っています。特に21世紀初頭には疾病構造の変化、治療技術や機械の革新、そして予防方法の確立、又、人々の医療に対する認識の変化と要求の多様化、情報科学の飛躍的発達などによって、大きく変化するであろうと予測されています。

その様な変革の中で歯科に関わる問題をどう私共は意識すればいいのか、私見ではありますが考えを述べてみます。

(2) 県、市の高齢化率と数

—略—

(3) 高齢化社会を迎えて医療の分野で何が起っているか

異論もあろうかと思いますが、本来、医療は病める人の痛みと苦しみをとり除き、そして病気を治すことからスタートしてきたのですが、近代医学の発達は、人間にとって最も大切な尊厳やQOLを無視した医療をも生み出しました。

例えば、スパゲティシンドロームにみられる様な、終末医療の場においての単なる延命治療にそれが顕著に現われています。

その様に人間をヒトとして扱わない医療科学は、何故起ったのか。—略—

医療の面でも、自然科学と人文科学の二極分化が起り、中でもサイエンスだけが強調された医学に則った医療の姿がみえます。そこには人間をマテリアルとして、こま切れにみて、人の心にまでは思いが至らない医療も生じてきたのです。

然し、この様な現況には医師の中からも反省が生まれ、患者の側からも声が上がっており、患者を単なる症例、病変組織として扱うのではな

く、病む人間としてみる人間性に富むやさしい医療が提唱されています。このことは医師中心の医療(DOS)から患者中心の医療(POS)への転換と関連しています。この変化は歯科についても同じことがいえます。

特に、私共歯科医師は技術偏重におちいり易く、人間を診る、という感覚が鈍る傾向にあります。然し、歯科医療は痛みや、不快感、機能障害の除去から、より良い咀嚼、審美性、快適さに至るまで、人々のQOLに深く関わる分野を担っています。その意味でも、私共は、人間を扱っているのだ、という意識を強くもつことが重要です。

(4) 近い将来の歯科は

今後、歯科医師の役割りは、治療のみでなく、予防からリハビリまでの全身の健康状況、又は、人々の社会生活に対しての指導、啓蒙、監視へと拡大していくでしょう。何故ならば、近い将来に医療費用は縮小され、予防や介護の費用は拡大すると予測されるからです。そのためには全身管理のできる広い視野での知識、技能を備えていることが大事です。

インプラント等の高度先進医療の日常臨床への導入、咬合と審美、咀嚼と全身—略—

(5) まとめ

高齢化社会になって、生命の延長を目指すだけでなく、与えられた日々の生活の質を高めることが、医療の目標として強調されるようになった今日、歯科医療は「生活の医療」としての特質を強くもっており、人々の健全な社会生活にとって、今より以上に重視され大きく関わっていきます。

歯科の将来は、マイナーなものではありません。プラス思考をもち、歯科の哲学、理念をもって21世紀を迎えようではありませんか。

終りに次の言葉を贈ります。

「希望ある限り若く、失望と共に老い朽ちる」

大先輩の先生方の大合唱も

新春懇親パーティー '97



1月25日（土）午後6時30分よりニュースカイホテル「すいしょうの間」において、'97熊本市歯科医師会新春懇親パーティーが開催された。今年は「モォーッと地域とふれあい素敵なまちづくり」「勇モウ果敢に今年モォーチャレンジ」と2つのテーマをかけた、会員、御令室合わせて135名の御出席をいただいた。中川順一厚生委員の司会により、まず中根俊吾会長より年頭の挨拶があり、続いて来賓として熊本県歯科医師会々長鬼塚義行先生より御挨拶があった。次に、永年にわたり歯科医師会に御尽力いただいた先生方に贈られる功労賞の表彰があり、本年は西野秀隆、武久省二、山内湮各先生が授賞された（今回は3名の先生方は御出席いただけませんでした）。続いて、昨年13名の入会者のうち出席者9名の紹介の後、代議員議長の田中宏先生の乾杯で祝宴に入った。

会話もはずみ、宴もたけなわの7時30分に、毎年恒例のお楽しみ抽選会がニュースカイホテルの広田さんの進行により始まり、豪華景品が次々と当選者の手に渡された。また今回の抽選でテーブルごとの代表に抽選してもらおうと、不思議と当選者が同じテーブルから出るという珍現象が3回も続いた。これには進行の広田さんもさかんに首を傾げていた。それから今年のパーティーでは、数年ぶりにカラオケが復活し、執行部の先生方の渋い歌及び大先輩の先生方の若々しい大合唱を聞くことが出来た。その後も次々とのど自慢の先生方がとび入りで壇上に立たれた。時間が過ぎるのは早いもので終宴の時間となり、最後に関剛一副会長の閉会の辞でパーティーは無事終了した。

なお本年は行政関係の来賓がなく、会員だけのパーティーとなりました。

（厚生 有田俊昭）

新春懇親パーティーでのワンショット

新入会員です。これから宜しく。



ホラ、ホラ、写しますヨ。



どなたもゴキゲン。



ヨッ！御兩人！



じゃんけんではありません。



高いところからではございますが…。



もらっちゃったあ！



ハイ、並んで、並んで。



第24回 ビデオ研修会

「三種混合抗菌剤による無菌化療法」

解説 清村正弥

1月14日(火)「三種混合抗菌剤による無菌化療法」とのテーマで、第24回ビデオ研修会が開催された。

開催に先立ち中根俊吾先生の挨拶をいただき、早速、ビデオ上映に移った。ビデオは日歯生涯研修ライブラリー：東京歯科大学病理学教室の下野正基先生による「象牙質・歯髄複合体を考える」～歯髄保存の限界を求めて～が用いられた。線維細胞の一種である歯髄組織は象牙質形成能があり、歯髄と象牙質は切り離して考えられない密接な関係があるといった内容であった。



続いて、熊本市歯科医師会学術委員の清村正弥先生により解説が行われた。以下内容を記載します。

「三種混合抗菌剤による無菌化療法」は新潟大学歯科保存学講座教授、岩久正明先生らが約10年ほど前より研究・開発してきた療法であり、その薬剤はメトロニダゾール (MN)、セファクロル (Ccl)、シプロフロキサシ (Cip) の3種類の薬剤を調合し、感染歯質に応用し無菌化するという方法である。

過去において感染歯髄が保存できなかった理由は、カリエスの原因が好気性菌(主に)と言われていたのであるが、その原因菌は培養技術、方法の進歩により実際は大部分が偏性嫌気性菌であったということが分かってきた。また、感

染歯質が物理的に除去できない理由として、

1. 歯牙切削後に出る汚染されたスメア層の細菌が象牙細管内に進入する。
2. う蝕検知液では象牙細管内のわずかな細菌は認識できない。
3. 肉眼的方法を始め従来の基準では露髄と認められないものでも「象牙細管レベルでの露髄」が存在する。

以上のことよりあえて感染歯質を除去し抜髄、失活歯にしてしまうのではなく、嫌気性菌に感受性のある上記3種類の薬剤を用いることにより、歯質を無菌化し保存しようという考えが生まれたということであった。

実際に応用する場合は、アパタイトの前駆体(α -TCP)を含んだニューアパタイトライナーを基材とし三種混合抗菌剤と調合し使用する(表1参照)。

臨床基本術式はまず窩縁部に幅約1.5mm程度のレジ接着のための糊代を確保する。次いで、スプーンエキスカベータで極度に軟化した液状、泥状の部分削除する。さらにシャープなエキスカでフレーク状に削れるような軟化感染象牙質を表層のみ一層削除した後、ニューアパタイトライナータイプⅡにて裏層を行いさらにコンポジットレジにてシールする。

またすでに露髄して、自発痛がある場合は約8%の次亜塩素酸ナトリウムと約3%過酸化水素水にてケミカルサージェリーを行い数日間様子を見る。自発痛がない場合は三種混合抗菌薬入りのニューアパタイトライナータイプⅠにて直接覆髄、その後タイプⅡにて裏層を行う。

その他この三種混合抗菌剤は感染根管処置、暫

間被覆冠の仮着時などへの応用が推奨されている。以上のことよりこれからの歯科治療が大きく変わる可能性を秘めた治療法であると思われる。

なお、この療法に於ける治療法の詳細は「抗菌剤による新しい歯髄保存法」岩久正明他著（日本歯科評論社）をご覧頂きたい。さらに三種混合抗菌剤使用による治療の注意点を表2に記載させていただいた。



表1 使用薬剤

【基材（粉末）15g】			
材料名		市販製品名	
直接被覆用 α -TCP		ニューアパタイトライナータイプⅠ	
間接被覆・裏層用 α -TCP		ニューアパタイトライナータイプⅡ	
		（三金工業株式会社）	
【液材】			
製品所属のものを用いる			
【薬剤】			
薬剤名	市販薬剤名	力価	市販薬剤重量（除外皮）
メトロニダゾール	フラジール内服錠	450mg	1051mg
セファクロル	ケフラールカプセル	150mg	178mg
シプロフロキサシ	シプロキサシ錠	150mg	224mg

表2 三種混合抗菌剤使用による治療の注意点

1. 患者にはボランティアとして、その安全、有効性などについて十分説明し、了承を得る
2. 薬剤は術者自身が調合する
3. 治療には通常の治療費を算定しても良いが、薬剤の算定はしない

(学術 松永 久)

咬合再構成における 診断用ワックスアップの意義と重要性

添 島 正 和

はじめに

重度のペリオやカリエスによって咬合崩壊している場合や、現在の咬合状態に何らかの問題があり、顎関節症を惹起しているケースでは、長期的な咬合の安定と歯列弓の保全のために咬合再構成を行う必要があると思われる。

咬合再構成の最終的な治療のゴールをイメージするためには基礎資料の収集とそれに伴う詳細な診査に立脚した総合的な診断が不可欠である。

診断用ワックスアップとは、ワックスを用いて適切な咬合面形態を模索する診断術式で包括的な治療を要する症例において基礎資料の収集・診査の後に中心位で咬合器にマウントした模型上で行う。この術式を用いることにより治療後にどのような結果を得ることができるか考察することが可能になり、治療に対する予知性が高まる。

また患者・術者の相方にとって、最終的な治療ゴールのイメージをより明確にできるため、診断用ワックスアップは咬合再構成における重要な役割を果たしている。本稿ではその意義と重要性について解説してみたい。

診断用ワックスアップ

これから始める治療の青写真となるものであり、治療計画立案のキーポイントとなる。治療のスターティング・ポイントで又、様々な局面において利用されうるものである。

1) 治療ゴールのイメージを視覚化

→治療の青写真

最終補綴設計の計画立案の一助

- ①どの歯まで修復するか
 - ②ブリッジかパーシャルデンチャーかインプラントか
 - ③アマルガムかインレーかクラウンか etc.
- 患者へのインフォームド・コンセント
→動機付け（コンサルテーション）

2) 理想的な治療咬合の付与

適切なアンテリア・ガイダンスの付与
→犬歯誘導（ディスクルージョンの量）

咬頭嵌合位での安定

- ①A. B. C 3点接触
(カスプ トウ フォッサ)
- ②クロジャーストッパー
- ③イコライザー

咬合平面…スピーの湾曲

垂直顎間距離（下顎位）

オーバーバイト、オーバージェットの量

3) 歯の位置（トウスポジション）、歯軸の傾斜

変更するとしたら

- ①矯正（治療への必要性の模索）
- ②補綴（治療のみで済むか）
- ③矯正+補綴

4) 修復物の形態（審美性、機能性、清掃性）

- ①歯の外形、大きさ、長さ
- ②軸面形態
- ③咬合面形態
- ④咬頭頂の位置
- ⑤咬頭傾斜
- ⑥ボンティックの形態
- ⑦エンブレジャーの形態
- ⑧生理的に調和のとれた形態の模索

5) 歯周外科…切開線の決定

インプラント…埋入部位、方向、アクセス・ホール、植立本数(サージカルステント) アパットメントの選択

6) プロビジョナル・レストレーション製作の

基準及び参考

直接法

間接法

症例

患者 40才 男性

初診 1995年 7月31日

主訴 欠損補綴(インプラント) 希望

症例の概要

カリエスアクティビティーが高く、上顎のほとんどの歯牙に補綴処置が既に施されていたが、縁下カリエス、4 クラウンの脱離、根管治療の不備が認められた。さらに、7 6 5 4 | 4 6 7欠損のため臼歯部のパーティカルサポートが喪失し、咬合高径の低下を招いている。そのために下顎前歯部に、咬合のストレスがかかり 3 2 部にD.C.Sの徴候が認められる。全体的には特記事項なし。

治療計画

診断用ワックスアップ(セントリック・バイト)

・初期治療

炎症抑制 TBI・スケーリング・ルートプレーニング

拔牙 4

根管治療・ダウエルコア $\begin{array}{c} 6\ 2\ 1\ 3 \\ \hline 5 \end{array}$

上顎クラウン・レンジング・プロシージャー及びプラスチックサージェリー

$\begin{array}{c} 7\ \text{---}\ 7 \\ \hline \end{array}$

プロビジョナル・レストレーション

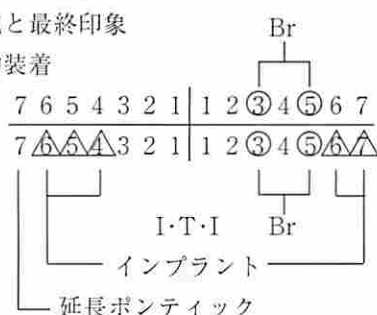
$\begin{array}{c} 7\ \text{---}\ 7 \\ \hline 7\ 6\ 5\ 4\ | \ 3\ 4\ 5\ 6\ 7 \end{array}$

・ITIインプラント植立

$\begin{array}{c} 6\ 5\ 4\ | \ 6\ 7 \end{array}$

・支台歯形成と最終印象

・最終補綴物装着



処置の要点

患者の希望と臼歯部の咬合支持の確立のためにパーシャルデンチャーではなくインプラントを 6 5 4 | 6 7 に植立した。

また審美性の向上のために咬合平面の乱れと上顎前歯部の歯頸線の不揃いの改善に努めた。

さらにD.C.Sの徴候が下顎前歯部に認められていたので、犬歯誘導で臼歯離開咬合の左右均等咬合接触を付与し、前歯部への咬合のストレスを除去した。



図1



図 2



図 3

図 1.2.3 初診時口腔内

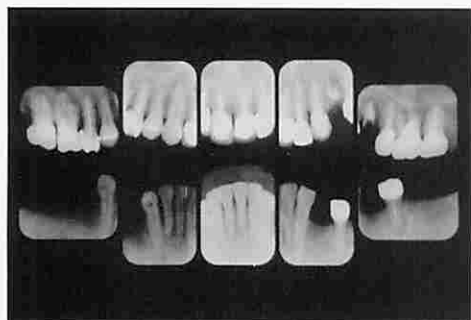


図 4



図 5

図 4.5 初診時全顎デンタルX線とパノラマX線

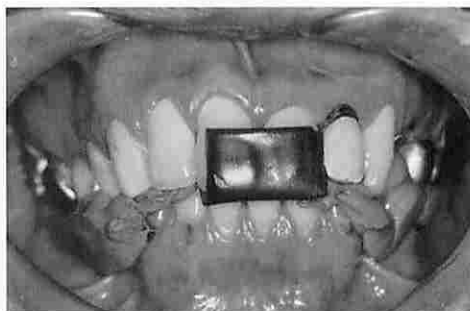


図 6 セントリック・バイト採得時



図 7 パナデント咬合器に中心位でマウントする

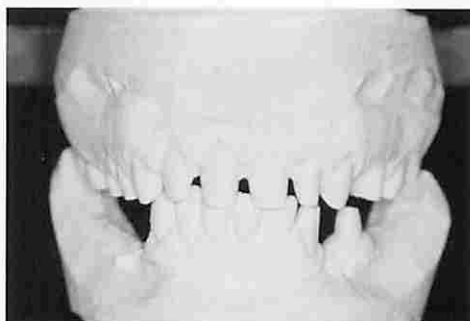


図 8 咬合器上でグロスの支台歯形成を行う

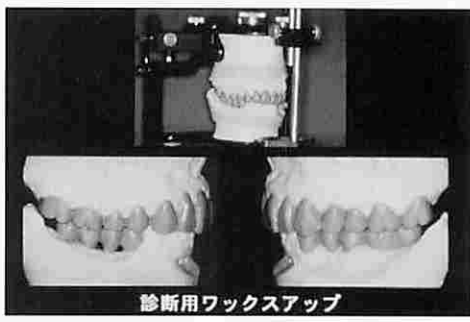


図 9

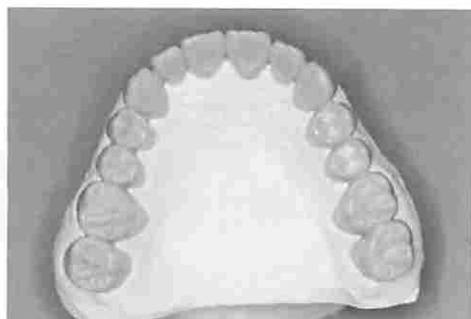


図 10

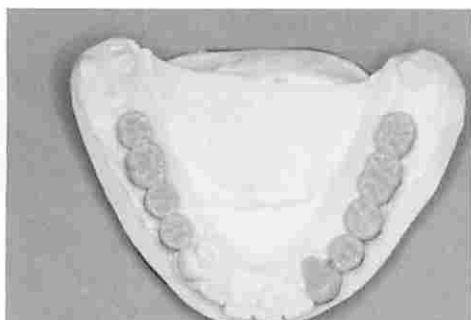


図 11

図 9.10.11 7654の挺出による咬合平面の乱れの修正を行い、インプラント埋入位置確認と植立本数、咬合様式を検討する

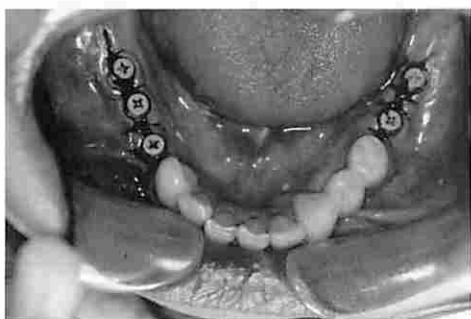


図 12

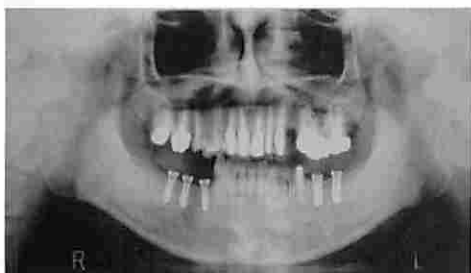


図 13

図12.13 654|67にITIインプラント植立時の口腔内写真とパノラマX線



図14 第一回目のプロビジョナルレストレーション装着時



図 15

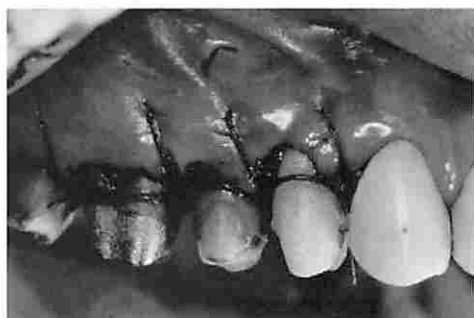


図 16

図 15.16 縁下カリエスと歯頸ラインをそろえる為に7+7もFOPを行う



図 17



図 18



図 19

図 17.18.19 第2回目のプロビジョナル装着時



図 20



図 21

図 20.21 最終支台歯形成



図 22



図 23



図 24

図 22.23.24 最終補綴物装着時

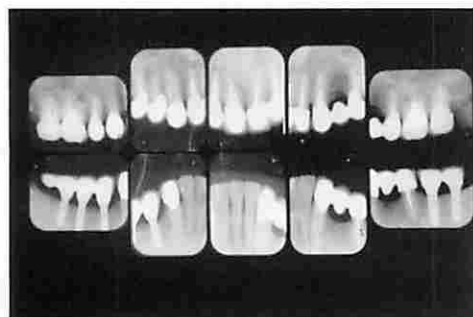


図 25 術後の全顎デンタルX線

おわりに

診断用ワックスアップは歯科医師、歯科技工士にとって、非常に有益な情報であり、最終補綴物のワックスアップ時に起こる問題点をあらかじめ予知できるようになる。我々歯科医師にとって、患者の口腔の健康を長く維持するために的確な診断と確実な処置が不可欠であるが、診断用ワックスアップはその一助になると思われる。

よろこびの声（在宅診療を受けられた患者・家族のアンケート調査より）

● 1本残った自分の歯がかけて入れ歯が落ちて来ようになり、食事が出来なくなりました。全くの寝たきり老人で右足が立たず、然もふれると痛がるので、なかなか車椅子に移すのも困難でした。今回訪問歯科医がおいで下さり、80才過ぎた老人にとっても丁寧にも優しく我が家で歯をつくって下さいますので、本人も家族も感謝の気持ちで一杯です。永生きしなければならないと二人で話し合いました。私の家は昔からあった古い家で、道巾が2m20しかなく、車が入りにくくて、いろんな機械用具を皆さんで運んで居られましたが、重かったろうとおもいました。本当に有難うございました。この制度があると知らなかった数ヶ月前は、どんなにして歯医者に行こうかといろいろ案じて居りました。私の家同様、助かる人がだいぶおられると思います。

● 有難く感謝申し上げます。本人はもとより

家族にとりまして大変幸せに存じます。救われた気持ちで一杯です。先生のお人柄も良く有難う御座居ました。会の皆様や歯科医の先生も行き届いた心配りをされて頭が下がります。全く不満や希望は御座居ません。今後共色々お世話様になります。宜敷くお願い申し上げます。

● 訪問ヘルパーさんとのお話しの中で歯が悪い時病院へ行かれないから困ると言いましたら、この制度のあることを教えてもらいました。電話でお願いした日、都合をつけて訪問予定時間通りに来て処置をして頂き、大変ありがたく思いました。先生、衛生士さんお二人共やさしく話しかけて下さり、心配りがうれしく、大変なお仕事だと思いました。薬もすぐ持って来て下さり、有難くお礼申し上げます。

● 本音で話せる座談会 ●

第10回 三歯会



第10回三歯会座談会が、1月24日歯科医師会館において開催された。

出席者は、技工士会（黒岩、増田）、衛生士会（本田、松並、福本）、歯科医師会からは公衆衛生委員会（矢毛石理事、岡本委員長）、広報委員会（蔵田理事、奈良委員長）、医療管理委員会（赤城理事、藤波委員長、松本、西田、沢木、尾上、田中、鳥取各委員）の参加者で藤波委員長の司会によりはじまった。まず赤城理事より役員改選の時期であるが次年度事業計画に変更はなく、又6～7月に院内感染についての講演会を予定している。企業検診時に名札をつけることは会員に連絡済みである等の報告がなされた後、座談会が始められた。

以下、主な質疑応答について記載する。

○市歯会より、災害時歯科医療ボランティアについて、両会に対して協力依頼及び協力者の名簿作成の要望が出された。

- ・衛生士会—市内は保健所区割りで5支部に分けているのでその区割りで名簿を作成する。
- ・技工士会—それぞれの診療所ごとに活動するのか、保健所ごとで活動するのか、今後検討を行っていく。

○両会よりの質問として、薬剤や歯ブラシ、歯磨剤、含嗽剤などの備蓄はどうなるのか、保健所などでどれだけの設備がしてあるのか等の質問があった。

- ・市歯会—今後、災害救援時マニュアルの作成が予定されているので、それにもとづき薬剤や器具については備蓄を行っていく予定である。また、設備については自衛隊等の給水車や特殊車両の出動があり、それらを利用するようになると思われる。

○技工士会より、市民向けに技工士の職業を紹介できるような機会があったら知らせてもらいたい。

たい。

- ・市歯会—医専連や国保組合等の主催する検診や医療相談コーナー等を利用してはどうか。

○衛生士会より、学術部門で三歯会合同の学会形式の発表の場を作してほしい。

- ・市歯会—理事会にて検討する。

矢毛石理事より、10月の医専連フォーラムへの参加要請があった。

○市歯会より、技工所の無資格従事者の問題があったが、貴会の現況はどうなっているか。

- ・技工士会—現在はほとんどない。会の方針として無資格者の雇用はしないように通達している。

○市歯会より、衛生士不足の一つの解決策として既婚衛生士のパートリストの作製をお願いしたい。

- ・衛生士会—来年度事業計画に入っているが、運用上の予算がないために現在検討中である。又、介護保険導入に向けて、ケアのできる衛生士を育てていく予定でいる。

○市歯会より、衛生士が現在の歯周病検査等についていけないという理由でやめる人がいるが、そのあたりの講習会など検討されているのか。

- ・衛生士会—県歯会と合同で講習会を開催する予定でいる。

○衛生士会より、パート契約時の雇用保険への加入をお願いしたい。

- ・市歯会—県歯会労働保険事務組合等へ打診し、会員へ知らせるようにする。

三歯会も10回目を数え、お互い本音で話せるような会合になりつつあると思われる。今後の歯科界発展のためにも三者一体となって協力しなければならないときである。会員の皆様も、この会に対してご要望、ご質問がありましたらお寄せください。

（医療管理 田中弥興）

..... かわら版「挨拶文」特集

中岳 91 号にひきつづき平成 6 年 7 月号より平成 7 年 12 月号まで掲載致します。

かわら版

平成 6 年 7 月号

商いは信用を売ることから始まり、その信用を失うと商いは長続きしません。信用は提供する物や技術と、報酬としてのお金との適正なバランスの上に成り立っているし、そのバランスが崩れると信用は失われます。

義歯調整指導料という項目を新設し誇らしげな厚生省の点数改正は、より複雑化し点数削減となり、患者さんの信用を失いかねません。そもそも医療に 1 ヶ月までとか、4 回までとか時間、回数の制限があるのは納得しかねます。4 回目と 5 回目の調整では点数は異なり、長期調整指導料においては高点数。これでは一部負担金を支払う患者さんから不信の目で見られかねません。患者さんへの説明は治療内容、費用等の説明だけかと思ったら保険点数のしくみまで説明しなければなりません。

野村総研のシミュレーションによると、20 年先の歯科医院収入は現在の 60% に落ち込むと報告しています。マスコミは歯科医師を非難します。歯科医師は信用を失った上に収入まで落ち込みます。歯科医師会も対外事業等に積極的に取り組みより多くの信用を得るよう努力しています。我々会員も歯科医師として信用をより多く得るよう不断の努力が必要です。

平成 6 年 8 月号

残暑お見舞い申し上げます。

今年も旧盆の時期となり残すところ 4 ヶ月余りとなりました。昨年は冷夏、長雨に祟られ米不足や農産物に多大な影響を与えました。我々、歯科界に於ても天候不順により患者さんの出足

がにぶり、更に不況も重なり余り好ましくない年でありました。本年の夏は天候に恵まれ過ぎて、連日猛暑となり空梅雨、渇水となり 2 年つづきの不順な天候になってしまいました。また政界に於ては社会党の党首が総理大臣となる政変が起こり、天候も社会情勢も異変つづきとなっています。少しは落ち着いてほしいものです。

さて、夏休みも後半となり子供たちもそろそろ宿題に追われるころです。夏バテをせず英気を養うには長期の休暇が欲しいところですが我々の職業ではなかなか難しいでしょうから、まあ近場でビヤガーデンにでも行くことで暑気払いをすることになるでしょう。でもくれぐれも飲み過ぎには注意してかえって夏バテをしないようにしましょう。

平成 6 年 9 月号

暑さ寒さも彼岸まで。長かった今年の夏も終わり朝夕はめっきり肌寒くなりました。スポーツの秋、読書（研修）の秋。9 月は各種研修会が目白押しです。連日の猛暑による夏バテを早期にいやし、頭をキッチリ切り替えていろいろな取り組みに積極的に参加しましょう。

さて、10 月 1 日から医科 1.7%、歯科 0.2%、調剤 0.1% の保険改訂が行われます。歯科では 4 月改定で往診料、在宅患者訪問診療料、訪問看護指導料がそれぞれ引き上げられましたが、たった半年後にはこれが再編され（まさしく朝令暮改！）医科、歯科別立ての体系とされた上、歯科の点数が引き下げられています。低い点数自体の問題も然る事ながら医科、歯科の点数差が導入された点など大きな後退を含む内容となっ

ています。厚生省の言われる「在宅医療の推進」には歯科は含まれてはいないのでしょうか？納得のいく説明を是非お聞きしたいものです。

平成6年10月号

私事で恐縮ですが、今年厄晴れをむかえて無事に過ごせるかと思っていましたら、5月に体調をくずし、主治医から狭心症の疑いがあると言われてしまいました。

今までカゼぐらいしかやらなかったのに、非常なショックをうけ、しばらくは診療にも手がつかなくなったものです。

それで、心臓カテーテル検査まで受けましたが、結果は異常なし。迷走神経反射によるショックのおまけ付きではありましたが、「立派な心臓です」と太鼓判を押されようやく一安心しました。ところがその後、快調かというところでもなく、なんとなく違和感が残っていて、どうかしたはずみで胸が痛むことがあります。これこそ「気のせい、気の病い」だと思いますが、どこか他に悪いところがあるのでは、と心配な時もあります。

ということで、私達が治療中になにげなく発する言葉が、患者さんにとって重くのしかかる一言になる場合もあるということを身にしみて感じた次第です。これは悪くすると医事紛争の火種になるかもしれないので、言葉使いには気をつけたいといけなく改めて思いました。

ところで、我が身の病氣自慢をするようになったら、ホントの中年だとか。私もすっかり中年になったんだなあ、と、しみじみ実感しています。

平成6年11月号

つい最近まで歩くと汗ばむようでしたが、急に朝夕冷え込むようになってきました。気象の異変がこの前まで茶の間をにぎわしていましたが、確実に秋は深まり、冬に向かって季節の変化を肌で感じるようになりました。

さて我が診療室では「毎年今頃は患者さんが

少ないからなあ」と自分に言い聞かせる時期でもあります。持て余した十分な時間のおかげで、院内の改善すべき点がよく目につきます。私にとっては自院を一年のうちで一番よく冷静に見直すことのできる頃だと思っています。診療報酬改定による収入増が望めない今となつては、細く長く地道に働くしかない事に気づき、そこで思考はいつもストップしてしまいます。

歯科医は体が資本です。この時期になると、私は肉体的にも精神的にも十分充電し、仕事への情熱を再認識し、今年を締めくくりたいと思うのです。

平成6年12月号

昨年の冷夏がうそのような猛暑も過ぎあつたという間の紅葉、そしてもう少して平成六年も終わろうとしています。諸先生方の一年は如何でしたでしょうか？先日、テレビで「安楽死」についてのショッキングなドキュメントを見ました。オランダでのホームドクター制は進んでおり、患者と家族そして医師が一体となって病氣と闘うというすばらしい制度が確立されているようです。「安楽死」についていろいろ考えさせられましたがそれと同じくらい「安楽死」を行った夫婦の姿をみていくうちに夫婦愛というものを深く考えさせられました。人が人として生きていくうえでの最小で最大の単位は家族、そして夫婦。これまでの自分を少々反省しつつ今日からは…明日からは…などというだけの自分におさらばして、来年からは少しでも優しくしてやろうかなと、ちらりとかたわらの妻をみてしまいました。

平成7年1月号

新年明けましておめでとうございます。

昨年は米不足に始まり、異常とも言える猛暑、水不足と自然の力のすごさをまざまざと見せつけられました。又、医師が患者に銃で殺害されたり、医師が妻子を殺害するという何かと暗い

一年であった様に思われますが、今年はどのような年になるのでしょうか？

景気の回復が訪れ、スタッフに十分な給与を出す事ができて、我々ドクターも物心ともに少しは余裕が持てる年であってほしいと願うばかりです。

今年も宜しく御願い申し上げます。

平成7年2月号

新年早々予想もしなかった大惨事が起こってしまった。阪神大震災である。死者五千人以上にのぼる想像を絶する被害である。

いつもは他人事のように見ている地震だが、都市型の地震がこれほどまでにひどいとは思ってもみなかった。熊本にもいつ起きるかわからないという懸念がある。おりしも県知事選の告示があった。今度の知事には防災対策を最優先にしてほしいものである。

最後に今回の被災地の出来るだけ早くの復興と亡くなった方々のご冥福をお祈り申し上げます。

平成7年3月号

あらゆるものが一瞬にして破壊され、数多くの生命を奪ってしまった阪神大震災。被災者の方々には心からお見舞いを申し上げ、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

ガレキの山と化した被災地の中には、お互いに助け合い協力するという、今まで忘れかけていた人間関係のすばらしさをかみしめながら、復興に努力されている被災者の方々の姿を見ることができます。また全国各地からは多くのボランティアが集まり、多くの義援金、援助物資が送られ続けています。だれもがストレートにお気の毒にと思いました。他人に無関心のこの時代であっても、この震災を機として今まで心の底にしまい込んでいた助け合う心、他人を思いやる心が多くの人々の心の中に忽然と目覚めました。復興には多くの資金も必要だけれど、この心をもってすれば神戸は今まで以上に住みや

すく、人情味あふれるすばらしい都市になることでしょう。

歯科医として我々は患者さん、スタッフ、歯科医師会等いろいろな関係により結ばれています。お互い協力し、助け合い、他人を思いやることによって、低迷する歯科界の未来をすばらしいものにすることができるとでしょう。

平成7年4月号

3月4月は、卒業入学のシーズン。誰そのこどもさんがどこそこに受かった、落ちたなどの話題がご近所で渦巻いています。受験生を持つ家庭ではなかなかたいへんだったでしょう。子どもの数が減って入学が楽になるかと思いきや学校の定員も減らされるとのこと。あーあー困った困った。我が家では受験までまだあと数年ありますが新聞の合格者発表を見た後で思わず「勉強！勉強！」と子どもに大声あげてしまいました。

めっきり陽気も良くなり過ごしやすくなってきましたが、今年は保険点数の改定もないのに（改定があっても多くは期待できない昨今ですが…）従業員のベースアップをどうひねり出そうか頭が痛みます。この歯科界に春はいつ来るのでしょうか？

ある精神科医の「ストレスに負けないための精神衛生法」の本を読んでいたら季節感のある生活をしなさいと書いてありました。歯科経営の悩みは一時忘れて、とりあえず家族や従業員、業者、技工所のみなさん方と花見に出かけパーッとストレスを発散させ、気分だけはもり上がりました。

平成7年5月号

新緑が輝くばかりに映える季節になりました。雨でたたられたこの連休でしたが皆様はどのように過ごされたのでしょうか。

私は家族と一緒に有田陶器市へ行ってきました。臨時列車での旅ですから気楽なものです。日頃の運動不足のため4km程の歩行がややキツイ

くらいですが、焼きものを値切るのに成功すると何となく得した気分になりました。

ところで、先日の新聞によると、参議院比例区に自民党が橋本聖子さんを擁立し、名簿順位を1位にする予定とありました。数日後に自民党は名簿順位に関しては白紙だとか弁明していましたが、おそらく裏ではもう決定していることと思われます。今更云々してもしょうがない気がします、我々のこの半年間の選挙活動が反古にならないことを願いたいものです。会員の政治離れ、連盟離れに拍車がかからないよう、日歯執行部も手をうつ必要があるのでは。

平成7年6月号

今年も梅雨の季節がやってきました。雨の中に咲くアジサイは見えていますがすがすがしいものです。雨は降る時にはちゃんと降ってくれないと困りますが、うっとおしい時期であることも確かで、また感染し易い時期でもあります。

私事で恐縮ですが、先日子供が風邪をひき、瞬く間に家族全員にうつってしまい家中病人のオンパレードとなっていました。発熱した頭でボーッとTVを観ていると、エボラ出血熱のニュースを放送してます。聞き慣れない病名だぐらいにしか考えていなかった私ですが、よく聞いてみると非常に恐ろしいものの様です。ザイル型だと打つ手が無く致死率90%とのこと。感染症の中で人類が治療法を持たないのはAIDSぐらいだとしか考えていなかった浅学な身にはショックな報道でした。丁度風邪の真っ最中とあって、まるで自分がその病気に感染したような暗い気分になってしまいました。

どうも近頃物騒な報道が多いようです。世の中の何かが変わってきたように思えて仕方ありません。こう云う時に個人個人でできることはとても少ないようですが、せめてもの抵抗として毎日の健康管理ぐらいはしたいものだと思います。健康管理という言葉と縁のなかった私はさっそく腕立てふせを始めました。

平成7年7月号

今年もあっという間に半年が過ぎ、いよいよ本格的な夏を迎えようとしています。一月に阪神大震災。三月に地下鉄サリン事件。そして長い間、オウム一色の関連ニュースが続き、静まりかけたと思っていたら、全日空のハイジャック事件と、暗い出来事が多い様な気がします。

さて、この七月にはいよいよ参議院選挙が行なわれます。我が歯科界からは、中原爽先生が出馬されます。これからの歯科医療の発展と明るい未来の為にトップ登載目ざして会員全員が一丸となり全力で後援会名簿を獲得して参りました。

さて結果は……。

平成7年8月号

残暑お見舞い申し上げます

今年も厳しい暑さが続いておりますがいかがお過ごしですか？

長い夏休みもやっと半分が過ぎましたが、小・中学生の子供さんをお持ちの先生方にとりましては、9月1日がさぞかし待ち遠しい事でしょう。

さて、先の参議院の比例代表では、会員の努力により中原爽先生が三位当選されました。これからの歯科医療が、少しでも良い方向に進むよう頑張っていたいただきたいものです。

平成7年9月号

先の参院選では国政選挙最低の投票率となり、国民の政治不信、政治に対する無関心は募るばかりです。しかし、このような状況の中でも明るい未来が見えない我が歯科界においては、政治に対して無関心ではいけないようです。それは、一般の人々はだれも歯科界を救ってはくれないからです。我々自身が自分たちの力で明るい未来を切り開くしかありません。

いつのことだったのでしょうか。歯科界はある参議を推しました。しかし、その参議は歯科界

の期待に十分答えることができず、我々の前から去ってしまいました。私自身、政治家に対して不信感を抱きました。そんな中、中原参議院議員の誕生は我々の期待を一身に背負ってくれることは間違いありません。先日、私は大島参議の時局講演会に出席しました。我々自身が送り出した代表であるから、送り出した以上その報告を聞く必要性があります。その講演の内容に関しては他にまかせるとして、当参議が報告してくれることに我々の代表として心強く思えたりなりません。

すべての歯科医が診療報酬の値上げを望んでいることは間違いありません。我々は二年に一度の点数改正のたびごとに落胆するのではなく、今できることは少しでも多くの歯科界の代表を国会に送り出し、政治力を活用することが必要です。

平成7年10月号

木々の梢も美しく色づく秋となり、日増しに過しやすい季節となってきました。

秋といえば食欲・読書・運動の秋とよくいわれます。私は、食欲ばかりでとんと運動には体が重く、万年運動不足となっております。

昨年は娘の運動会で障害競走に出場したものの、自分が思っていたよりは走れず、気ばかりが先へ進み足元がおぼつきませんでした。年を重ねるごとに体が動かなくなってくるようで、今年は心機一転、アスレチックに通い基礎体力をつけ運動会で一位を目標にするつもりでしたが、途中で中弛みしてしまい結局6人中4位に終わってしまいました。

皆様も、食欲の秋ばかりでなく健康のためにたまには運動の秋もお忘れなく。

平成7年11月号

秋も深まり、今年も残すところあと2ヶ月となりました。

阪神大震災で始まった今年は、雲仙普賢岳は

沈静化したものの、大分九重連山での二百数十年振りの噴火や奄美地方での地震活動など、九州での火山活動も活発化した1年となりました。フィリピン海プレートとユーラシアプレートの衝突だとか研究者は理論づけていますが、つまるところ、「予知」はまだまだ困難なようです。

避けることのできないのが天変地異であるならば、災害に対しての備えと起きた際の対処こそがより一層大事ではないでしょうか。あのいまいましいオウム事件の後、震災の報道も途絶えがちですが、まだまだ多くの方々が悲惨な生活を強いられていますし、診療を再開できずにそのまま廃院に追い込まれた医療機関も多数あります。私たち、医療に関わるものとしては、被災地、被災会員への粘り強い支援を続けて行く必要があると思います。

平成7年12月号

年の瀬もおしせまり、だんだんと周囲もあわただしさを増しているようです。

大地震や狂信者のジェノサイドにはじまり、南海地震と九重の噴火におわりそうなこの一年ですが、皆様はどんな年だったのでしょうか

世の中は着々と1999年のハルマゲドンに向っているようです。医療法も数年後には改定され、また本人2割負担になりそうだし、歯科界にも世紀末の嵐がふきあれるのでしょうか。

ところで、更に拍車をかけるような記事を目にしました。11月22日付朝刊(読売)です。経済面の片隅に小さくのっていました。来年度に予定されていた診療報酬改定を見送るとの記事です。おおよそ、物価・賃金等の停滞で改定の理由がないとの内容でしたが、さあ我々は一体どうすればいいのでしょうか? 中原会長を我々の代弁者として国会におくりだし、さあこれからという時に官僚側から先制パンチをくらったわけです。ここは国会議員としての手腕を十二分に発揮して診療報酬改定を実施してもらいたいものです。

妻を偲んで

「昨年の新春懇親パーティーの日に妻が」

岩村 泰行



平成8年熊本市歯科医師会新春懇親パーティーに特別ご案内を頂き、二人で出席することにしていました。妻は前日は町内の日本舞踊、当日午前中は公民館の民謡教室で舞っていました。昼食を済ませ、パーマ

に行き、帰ってきて出かける用意をし、パーティーで祝いの舞い「松竹梅」をやる予定でしたので軽く舞っていました。時間的に余裕があるのでバスで行く事にしました。近くのバス停に行きましたが、ほかには誰もいませんでした。私はバスの来る方を見て、家内はバス停の後ろに立っていましたが、そのうち向かいの理髪店の主人が道を横切って近づき、「先生」と地面を指差しながら呼びかける。指さす傍らを見てびっくり驚きました。妻はあお向けに倒れている。理髪店の主人とともに妻の姿勢を直し、大声で呼べど答えず、帯をゆるめ救急処置を開始した。意識がなく、口元に頬を近づけてみるが呼吸がなく、脈もないため人工呼吸（直接法）、心臓マッサージを繰り返した。救急車が来て、車中救急隊員により処置をしながら午後5時40分、日赤救急センターに着く。午後6時にX線検査、人工心肺、点滴を行った。血圧は61、脈拍は96で、主治医はフィルムを片手に「くも膜下出血がかなりひどく、脳幹にまで及んでいて手術は不可能です。一応内科的処置を行い経過を見ますが、最悪の事態も起こり得ます。仮に回復しても脳死状態になる恐れがあります」と説明された。依然として意識はなく、血圧は79、脈拍は84で、手を包むように握ると暖かく、眠ったままである。ナースセンター前のモニターを覗いてみると、当

初チリチリと小さな波形であったが、やがて正常波形の1/3の高さながらやや整った波形を示す。ベッドわきの人工呼吸器のメーター左下の赤ランプがつけば自己呼吸を始めるのだが、メーターの振れは小さい。1月29日、昏睡状態が続き、血圧、脈拍共に次第に下がり、心電図も小さくなっていく。主治医は我々と相談されて人工心肺を外された。29日午後1時、帰らぬ人となる。以来、独り身となり、診療に家事労働に一人二役を余儀なくされました。形あるものは壊れ、生あるものは滅びるの例えに従い、神の定めに従わねばなりません。残された者として残る命を社会の一員として有意義に過ごして参りたいと存じます。

並び立ちバス待ちおれば何事ぞ
いきなり妻は永久に旅立ち
教わりし救急の術を施せど
妻は再び帰ることなし
後七年待てば金婚 我は喜寿ゴールを前に
君倒るとは
ただ果然とたたずむ暇のあらばこそ
妻亡きあとの事の多きよ
庭の梅 蕾ふくらみ春を待つ
妻逝きて見る花のむなしさ
日計の書き入れ忘れじと思えども
亡き妻の筆をただ見入るのみ
一人居の新聞いっしか溜まりいて
後片づける人今は居まさず
連休の中の一皆つどい
妻の百ヶ日の法事をおわる
只一人語るべき人なく賀状書く
妻なきあとの部屋の寒さよ
一人居の庭に來たりし鶉の鳥
赤き千両ついでみて去る

丑年
動かさる事 泰山の如し
一步一歩しつかりと
確かめながら半歩の歩み
一旦動かば勇気をもって
牛の一突き猛牛の如し
背に荷を担い
田畑を耕し
柔順にして力強く
山坂越えて幾年月
穏やかな陽を浴びて
草原に草をはむ

泰牛

シャレにならない話（マムシの回想 その①）

（注）筆者は新樹会の幹事をしている頃、マムシというあだ名で呼ばれていました。 小島 博文



この世には本当にシャレにならない話というのがあ
るものです。あれは私がま
だ新樹会の班長に就任して
間もないころでした。その
当時私の班の連中は、自分
の班の事を小島組と呼び、
私のことを組長、組長と呼
んでおりました。ある時、内田サンエスで、慈
愛園訪問の準備をしておりますと、子供達にお
やつを持って行ってあげようという話になり、私
と健軍のW辺、本荘のN原の3人で、当時N原
が手に入れたばかりの、ベンツ560SECで近くの
コンビニへ乗りつけました。「こりゃーこの三人
が、このベンツに乗っとりゃー、だーれんもん
くばゆーてこんですね」とW辺が妙にはしゃい
でいたのを今でもはっきりと覚えております。確
かに今考えると、一見、女たらしっぽい、お
こらすとコワイゾータイプのN原、額から上に
迫力のある、どこから見てもりっぱなテキヤタ
イプのW辺、私はといえば、革ジャンをはおっ
た、突撃しか知らない頭の弱いチンピラタイプ
という感じは否めませんでした。しかしその時
は、そんな事は気にもとめず、楽しく買い物を
すませると、レジの前には7、8人ほどの客が
並んでおりました。私の後には、マイルドセブ
ン・スーパーライトを1個だけにぎりしめた、ヤ
ンキー風の男が、「たばこ1個買うとになんでこ
ざん待たんといかんとや」という顔をして、い
らいらしながら待っておりました。

15分程待ったでしょうか。いよいよ私達の番
かなという頃、何を思ったか、W辺が突然大声
で「では組長、我々は外のベンツでお待ちして
おりやす」と言って、さっさと出て行ってしまっ
たのです。その瞬間店内は「シーン」と静まり

返りました。誰一人として口をきく者はいませ
ん。皆、顔が真剣でした。「シャ、シャレになら
ねーよ。ホント、シャレにならねーよ」そう心
の中で叫びながら、組長と呼ばれた私は、腕一
杯に抱え込んだボッキーやコアラのマーチなど
をひたすらレジの前に並べておりました。

私のうしろのマイルドセブン・スーパーライ
トを1個だけにぎりしめたヤンキー風の男は、急
に私と目を合わさなくなり、そわそわしはじめ
ました。

私も相当あせっていたのでしょう。さらに自
ら墓穴を掘るようなことをしてしまいました。

「りよ、領収証下さい」

「ど、どちらさまですか」

「シンジュカイ」

「……………」

再び店内に、氷河のような静寂がおとずれた
のは言うまでもありません。

ただ、その時、静まり返った店内に有線放送
から流れていたキョンキョンの「さよならさえ、
上手に言えなかった。あなたに会えてよかった
ネ、きっと私」という今考えると何の脈絡もな
い歌のフレーズが、その時の私の心境に妙にマッ
チングしていたのを、よくおぼえております。

その直後、私の後ろの、マイルドセブン・スー
パーライトを1個だけ握りしめたヤンキー風の
男は、それまでの20数分の努力を棒に振り、何
処かへ消え去ってしまった事を付記しておきま
す。

いや一世の中には、シャレにならない話があ
るものです。

それにしても、その場に、阿蘇のパンチM藤
や帯山のO川がいたとしたら……………。

考えただけでもぞっとします。

「のぼせもんが、歌舞伎座へ」

緒方 進

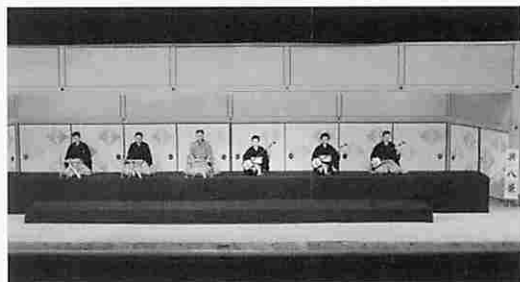


中岳に『バランスある人生』を投稿して、早や3年、我を忘れて有意義に毎週土、日曜は「釣り」と「長唄」三昧です。釣りの方は天草のM先生に、「ほんなこつ釣りばしなはとですか?タキシードば着て

釣んなはとですか?赤いベベ着た金魚じゃなかとですか?先生は陸釣り専門で、似合わないですよ」と冷やかされましたが、無視。無理矢理頼んで、熊本の釣り名人のU先生に天草に鯛釣りに連れて行ってもらい、かなり迷惑をかけましたが、なんとかバスフィッシングの要領で竿釣りで三枚あげましたのでまあまあという事で信用してもらい、今年も天草に連れて行ってもらう様、お願いしているところです。(きつとイヤーダナ、進先生は、せからしかけん仕方なかかとあきらめておられる事と思いますが???)



今回は10月27日(日)「歌舞伎座で巽八景を唄う」と云ったらK先生から「馬鹿!!お前が長唄でや?」東京の家元に習っていると云ったら、「フーケモン、なんばとほけととか、小唄か端唄にしとけ!!」と軽蔑というか、呆れて物が言えんという様な目でみられました。「カラオケでも、よう歌えん奴が」というイメージしかなかったかも知れません。三年前に死ぬ目にあってから、ストレス解消にアウトドアは『フィッシング』、インドアは『長唄』と決めていました。家内でさえ、「あーたはズーズーしか。私でん、まだ歌舞伎座の舞台上で踊った事はなか



とに。一生踏めんかも知れんとに。三年しかたつとらん下手くそが…」と馬鹿にされました。

ひょんな事から今藤長十郎家元との縁があり、これを大事にしたからでしょう。縁故ひいきかも知れませんが、いや、絶対に縁故ひいきでしょう。沢山おられる名取りの先輩方をさしおいて、松本幸四郎、市川団十郎、中村富十郎と同じ舞台上、又同じ列に名前の看板を出して頂き、晴れの舞台を踏むチャンスを頂き、これを一生の記念にと思いましたので清水の舞台から飛び降りる気持ちで出演しました。

息子、娘、一族郎党が私以上に心配して観に来ましたが、「お父さん、アーウーでおしまい。最後まで絶対唄いきらんですばい。ヒックリかえるけんやメナッセ。家の恥ですばい」と云いましたが、「歌舞伎座には魔物が住んでいますので御加護があります。うまく唄えますよ」との家元の励ましの言葉で無事終了、充実感あり。観客の皆様には、こぎゃん下手くそがよう厚かましゅうと、地獄の14分間我慢して頂きましたが、本当に良かったと我一人、幸せにひたりました。ちなみに、長唄、タテ、緒方進、今藤尚之、今藤長一郎、三味線、タテ、家元長十郎、今藤長由利、今藤美治郎、私以外はテレビ等で良く見られるベストメンバー。私が主役でこんな事が出来るのは夢の中だけと思った事が現実に出たのです。本当に平成8年はいい年でありましたし、これからの生きてゆく道での良き経験、励みになると思います。

薦めたい本の紹介

「掃除が変える 会社が活きる」 山本健治著 日本実業出版社 分山英次



ディズニーランドの掃除のマニュアルに「朝一番、赤ちゃんのゲストが来て、どこをはってもいいようにしよう」と書いてあるそうです。立ち読みしながら、自分の診療室を考えてみると、そうはなっていません。

それが、この本を選んだきっかけです。

掃除の効用については、打算損得なく無心になれば、気分が爽快になるうれしさがあり、穏やかな気持ちで仕事に取り組めるようになり、心を手にして磨き、磨いたら磨いただけ人の心も周囲もきれいになるなどがあります。また、経営者としての心の置き所を教えてくれ、見えなかったものが見えるようになるという効用もあり、経営の神様と呼ばれた故松下幸之助氏も、ご自身が創設された松下政経塾では、朝一番に掃除することを課せられたそうです。それに対する塾生の反応や塾長の考え方も述べられており、

他にも、掃除で逆境をはね返した会社や、業績が伸びた会社の事例も書いてあります。

この本を読んでから、三日坊主に終わるだろうとの家内の期待を裏切って三ヵ月、自分でも信じられませんが、まだ毎朝の掃除を続けています。従業員も毎日一応は掃除をして帰りますが、汚れが良く取れていないことがあります。自分も若い頃掃除が好きではありませんでしたので、しかたがないと思っています。私は朝8時頃、待合室と診療室だけですが、掃除機をかけた後、拭き掃除をしています。床の汚れが綺麗になると、気持ちが良くなり、今日も患者さんのために頑張ろうという気になります。以前は、床の汚れを落とすのは従業員の仕事と思っていたのかもしれませんが。今は、患者さんのため、それにも増して自分のためと思えるようになりました。

でも、まだ院長室は雑然としたままです。院長室が綺麗になるのが先か、掃除をしなくなるのが先かまだ分かりません。

「致知」人生のヒントがここにある！

富岡浩雄

「致知」とは中国の古典「大学」に出てくることばで、人間本来の英知を明らかにし、現代人に欠ける「知行合一」の精神のことである。



私達は、新聞・雑誌・書籍など活字文化の中で暮らしている。月刊誌が約二千点、その他諸々合せると年間では20億冊が発行されているという。その中のほんの数点を選んで読んでいるが、毎月発行を楽しみにしているのが「致知」である。毎号毎号、読みごたえのある特集もあるが、それ以上に人生とい

- 各界のトップが語る「体験から得た帝王学」
- 古典に学ぶ処世訓
- ものの見方・考え方
- 感動とときめきへの出会い

うか人間学について問いかける一貫した編集が素晴らしい。先人の生き方に触れるとき、人生への貴重なヒントを見い出すに違いない。医療人としては是非読んでいただきたい必読書である。

発行：致知出版社
発行日：毎月10日
購読料：1年間（12冊）9,800円
※書店では販売されておりません
申込先受付電話：03(3409)5632

薦めたい本の紹介

「野茂とイチロー夢実現の方程式」 三笠書房

西口 和弘



日頃診療に忙しい諸先生方が読み流すには打って付けの本を紹介致します。それは「野茂とイチロー夢実現の方程式」三笠書房刊です。

野茂が大リーグで大成功を収め、一年目にオールスター戦まで出場して野球ファンを喜ばせたことは、皆さん御存知のことでしょう。ただ野茂が近鉄の鈴木啓示前監督の体験主義に反発して行き場がなくなり、故障を理由に二軍へ落ち、そこから大リーガーという新しい道へ向かったこと、またイチローが、オリックス前監督の土井正三氏にフォーム改造を命じられ、これに反発して自ら二軍へ志願して落ち、二年間二軍暮らしをしたことは皆さん御存知ないかもしれません。

ここで二人の成功の鍵を握る人物が登場します。それは現オリックス監督の仰木彬氏です。特にイチローが現在あるのは、まさに仰木監督の

人を見る目があったからに他なりません。彼は土井前監督時代に干されて、ハワイアンリーグに追いだされていたイチローとハワイで初めて会った時の印象を「なぜ、この男が二軍にいるのかと思った」と言っています。仰木は「人は型にはめようとすれば、いい個性まで失ってしまう」との信念で、イチローの振り子打法、野茂のトルネード投法は一切いじらずに個性を伸ばさせました。

ちなみに御存知ない方の為に書きますが、仰木監督はオリックスにくる前四年間は近鉄の監督をしており、このとき野茂が一億円ルーキーで入団してきて四年連続最多勝投手になっているのです。その後鈴木啓示氏へ交代しているのです。

最後に、人を生かして力通りに働かせる仰木監督の一言を紹介します。

「どうせ棺桶まで金を持っていけないのだから生きているうちに楽しまなければならないのです。人との出会いを大切に、一緒に楽しもうと思えば人は動いてくれます」

よろこびの声（在宅診療を受けられた患者・家族のアンケート調査より）

●老人それも在宅で車では動かせない。患者、家族にとっても大変ありがたい。ことに本人にとっては、表現こそできませんが不安が解消し生きることへの希望がもてたように思えて有難く感謝の気持ちでいっぱいです。

在宅ではじめてこの制度があることを知りどんなにかありがたく助かりました。医師、スタッフの皆様の処置の早さが何よりありがたい。市の広報などでもPRして、弱者のために役立ててほしい。

●寝たきりや障害者など治療を受けに行きたくても病院などには段差があり出むいては行けないが訪問歯科ができ、先生方が合間をぬって治療しにきて下さるので本当にありがたいし、助かっています。

●10年前に作った義歯があわなくなり、ちょっと硬い物は、食べられなくなりました。自分で歯科を受診する事はなかなか難しいので、自宅に先生が来てくれるのは、大変助かってます。この制度を知らない人が多いと思いますので、もっとPRしたらいいと思います。

新人です!よろしくお願ひします

新 入 会 員 紹 介



氏 名 吉 崎 久 次

住 所

(自 宅) 熊本市戸島町3181-5 エクセレントビュー I 305号

電話096-368-8827

(診療所) 熊本市大江2丁目15-2 玉城ビル1F

電話096-371-0535

生年月日 昭和39年4月3日

趣 味 絵画

好きな言葉 仕事に高下なし

経 歴 平成2年 福岡歯科大学卒業

同 福岡市内にて勤務

平成6年 玉名市にて開業

平成8年11月 現在地にて開業

家 族 妻 志保 長男 幸一朗(3)

よろこびの声(在宅診療を受けられた患者・家族のアンケート調査より)

●一昨年も実にご親切に治療及び手続等して頂きましたが今日もまた早速に来訪して頂き手当をして頂きました。私のような障害者にとって訪問歯科を受けられますことは、とても有難いことでございます。

●入院先の病院からの連絡で知り、抜歯して義歯を入れて頂きました。車椅子の生活ですので通院が困難でしたので助かりました。訪問検診が出来る事を初めて知りまして感謝しております。寝たきりの人等は喜ばれている事でしょう。有難うございました。

●歯が次々とグラグラになって食事が出来にくくなりましたのでお願いしました。大変親切で感じの良い先生で、今日は二日目で2本抜きましたが心配してた様な事はありませんでした。腰が曲がって歩くのに困難な状態です。バスを下りて長く歩かねばならない処はあぶないですし、タクシーでなど月に何回もかよってたら食べられなくなりますので来て頂くことは本当に助かります。年寄って体の不自由な方に本当に助かる良い制度と思います。知らずに不自由して居られる方が多いと思います。知らない方に知らせてあげたいと思います。



スポーツの広場



トーナン・デンタル・ゴルフ会

平成8年10月13日 20名

		O	I	G	H	N
優勝	安田 光則	40	42	82	10	72
2位	河野 生司	51	45	96	24	72
3位	合沢 康生	46	41	87	14	73
4位	川瀬 博美	51	58	109	34	75
5位	大森 秀則	46	47	93	18	75
BB	青木 群育	63	51	114	21	93

平成8年11月17日 25名

優勝	赤城 公德	48	48	96	27	69
2位	井尾 治雄	44	42	86	17	69
3位	安田 光則	40	42	82	10	72
4位	大森 秀則	46	44	90	18	72
5位	奥田 良樹	45	46	91	18	73
BB	木村 洋	46	58	104	18	86

平成8年12月15日 21名

優勝	本田 亘	40	43	83	12	71
2位	坂梨常太郎	44	37	81	10	71
3位	本田 治夫	43	44	87	12	75
4位	内田 隆	41	41	82	7	75
5位	三苦 司	43	42	85	10	75
BB	赤城 公德	63	49	112	24	88

熊本デンタル

平成8年12月30日 空港カントリー 37名

		O	I	G	H	N
優勝	本田 亘	40	41	81	12	69
2位	松本 光示	38	38	76	5	71
3位	木村 義浩	44	44	88	17	71
4位	古賀 明	44	40	84	12	72
5位	田中 弥興	48	44	92	19	73
6位	西野 隆一	51	53	104	30	74
7位	工藤 隆弘	43	44	87	13	74
BB	松本 謙一	55	54	109	18	91

平成9年1月19日 空港カントリー 29名

優勝	渡辺 賢治	38	40	78	9	69
2位	井尾 治雄	42	47	89	17	72
3位	稲葉 逸郎	41	41	82	10	72
4位	中島 義和	44	41	85	10	75
5位	甲斐 利博	41	40	81	5	76
BB	椿 幸雄	51	59	110	16	94

熊本デンタル会 新年マッチ

平成9年2月2日 ダブルベリア方式 24名

優勝	元島 博信	37	45	82	9.6	72.4
2位	内田 隆	46	42	88	15.6	72.4
3位	松本 光示	41	45	86	13.2	72.8
4位	稲葉 逸郎	41	43	84	10.8	73.2
5位	渡辺 賢治	45	38	83	9.6	73.4
BB	三苦 司	54	58	112	30.0	82.0

会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
12月20日	第100回理事会（会務、庶務、委員会報告、協議）
1月22日	第101回 〃 （ 〃 ）
2月21日	第102回 〃 （ 〃 ）

医 療 管 理 委 員 会

月 日	協 議 題
11月19日	救急蘇生法実習会
11月26日	平成9年度委員会事業計画案予算案作成
1月24日	三齒会
2月13日	平成9年度税務カレンダーについて 平成8年度の反省 産業廃棄物について

学 校 歯 科 委 員 会

月 日	協 議 題
1月14日	平成8年度熊本市保健会誌原稿提出の件
1月30日	企業健診協力医募集について 熊本市エイズ対策委員会資料収集

広 報 委 員 会

月 日	協 議 題
11月25日	中岳95号編集、かわら版12月号編集
12月 5日	中岳95号編集
12月24日	中岳95号第1回校正、かわら版1月号編集
1月 9日	対外広報に関する打合わせ
1月27日	かわら版2月号編集
2月18日	中岳96号編集
2月26日	かわら版3月号編集

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
12月 6日	総合診断ガイドブック編集 ビデオ研修会打合せ
12月17日	ビデオ研修会打合せ 歯科医学大会打合せ 総合診断ガイドブックについて
12月23日	総合診断ガイドブックについて
12月26日	ビデオ研修会打合せ 総合診断ガイドブックについて
1月 8日	総合診断ガイドブック内容検討
1月21日	総合診断ガイドブックについて
1月27日	総合診断ガイドブック原稿最終チェック
2月12日	総合診断ガイドブックについて
2月25日	総合診断ガイドブック第1回校正

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
1月28日	歯周治療に関する質疑回答集の作製について

公 衆 衛 生 委 員 会

月 日	協 議 題
1月23日	パールラインマラソンについて
2月19日	市立幼稚園長、行政、衛生士学院、歯科医師会によるフッ素塗布に関する反省会 平成9年度事業計画案作成

厚 生 委 員 会

月 日	協 議 題
12月25日	新年パーティーについて
1月16日	新年パーティーについて
1月21日	新年パーティーの席次表、式次第作製
2月 6日	新年パーティー反省会

～ 協同組合だより ～

まず水を換えよう!!

万病の原因として注目を集める活性酸素が「水」で消えた! 活性酸素の害を抑えれば、ガンリスクを減らすことができ、成人病や老化の予防にも効果がある。電解水生成器でつくられる「還元水」は、実はあらゆる病気を防ぎ、治す可能性を秘めた偉大な水・最良の活性酸素消去剤・抗酸化水だった。

幻のキノコ新発売

アガリクス茸

注目度No. 1 免疫力が飛躍的にアップ

問い合わせ・資料請求は

熊本県歯科医師協同組合

(有) K D M U

TEL 096-343-6400

FAX 096-343-0623

■ ■ この3年間を振り返って ■ ■

理事を任せられたものの、果して務め上げることが出来るか心配でした。毎月のかわら版、3ヶ月に1度の中岳、たったこれだけのことですが原稿が集まらないでは話になりません。その点、委員の協力は勿論のこと各委員会の先生方、また会員の皆様方のご協力により無事任期が終ろうとしています。3年間ありがとうございました。

(蔵田 幸一)

「光陰矢の如し」とはよく言われたものですが、3年間があっと言う間に過ぎ去った様な気がします。かわら版(月1回)中岳(年4回)そして講演会の写真撮影等いろいろなことを勉強させて頂きありがたく思っています。また、会員の先生方には原稿依頼をはじめ、無理なお願いもありましたが協力して頂き深く感謝しております。ありがとうございました。

(奈良 健一)

早いもので広報に携わって6年が過ぎた。少しは読みやすい誌面になったろうかと自省しています。身内に病人をかかえているのでしばらく委員会はお休みします。

(古川 猛士)

つい先日委員会にお世話になったと思っていましたら、あっという間に3年が過ぎてしまいました。蔵田理事はじめ、素晴らしい先生方と一緒に仕事のできた事を感謝致します。又私自身の不注意による入院等で諸先生方に多大な御迷惑をおかけした事を深く御詫び申し上げます。

(緒方 敏克)

先日、東京で電車に乗っていると回りの乗客にはほとんど太った人がいないことに気がつきました。東京の人は、気を使い、体力を使っているので太っているヒマはないのでしょうか。私も40才を目前に東京の人を見ならって、健康には気を付けて、気を使わず体重を10kgおとしました。

(木村 洋)

編集や校正の作業では要領がわからず、誤字を見つけたつもりが実は正しい字だったりして、委員会の足を引っ張った3年間だったような気がします。委員になったことで歯科医師会が身近に感じられるようになったことと交友関係が広がったことが自分にプラスになったと思います。

(広田 達也)

広報委員となり、この3年間で省みて編集や校正、特に文章を書く難しさがよくわかりました。大して手伝いも出来ませんでしたが、自分にとって良かったことは、漢字と日本語の勉強になったことです。3年間ありがとうございました。

(西濱 亮介)

あっという間に3年間で過ぎてしまいました。3年たって覚えた仕事は情けないほど少なかったですが、先輩の諸先生方に公私共にいろいろ教えていただきました。私にとってここで作られた人間関係は貴重なもので広報委員会には有意義な時間でした。

(山本 資晴)

編集後記

先日、ひょんなことからバードウォッチングの会に参加することになりました。家族全員を誘いましたが、みんなあれこれ理由をつけてついて来ません。三男だけをなだめすかして集合場所に行ってみると、望遠鏡や双眼鏡が準備されています。主催者側の人達（野鳥の会？のベテラン）が4人で、私たち参加者（素人）が4人です。場合によっては途中で帰ろうと思って参加したのですが、とてもなにか申し訳ないような状態で、帰るに帰れません。最初にレクチャーがありましたが、主催者はみなさん小中学校の理科の先生で、講義はお手のもの。学校で使う教材を使って、観察できる可能性のある鳥の特徴などを丁寧に説明してもらいました。日頃よく通る道沿いで、いつもは鳥の存在に気付かないのですが、その地域だけで、10数種類の鳥を見ることができました。熊本市の鳥であるシジュウカラや、カワセミ、ツグミ、ホオジロ。鳴き声ですが、ウグイス。ベテランの人でも今年初めてさえずりを聞いたそうでした（これを初音と言うそうです）。ジョウビタキのつがいも見ましたが、長い時間見つめ合いさえずりあって、その仲睦まじいこと。私としては少々反省させられました。

バードウォッチングの面白みが解ったという程ではありませんが、春を感じる陽光の中で鳥を観察したり、日食のこと、ヘール・ボップ彗星のことなども聞くことができ、保険点数改定のことや労働時間短縮のことなど頭が痛くなることもしばしば忘れ、なにか得をしたと思える一日が過ごせました。みなさんも春を探しに野に出て見ませんか。

(T. H)

熊本市歯科医師会会誌

第 96 号

発行日 平成9年3月25日発行

発行所 社団法人熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目3番6号

TEL (343) 6669

FAX (344) 9778

発行
責任者 中 根 俊 吾

印刷所 株式会社 ハタノ

熊本市上熊本2丁目1-30

TEL096-356-6433 FAX096-311-1388